

各派代表質問



2月17日から19日の本会議において令和8年度予算議案に対する各派代表質問が行われました。各会派の質問者は次のとおりです。



自民党・無所属の会

森功一 議員



立憲民主党 鎌倉市議会議員団

中村てつや 議員



公明党 鎌倉市議会議員団

水上武史 議員



公正と法

重黒木優平 議員



夢みらい鎌倉

小野田康成 議員



日本共産党 鎌倉市議会議員団

武野裕子 議員



鎌倉前進の会

大石香 議員



新年度予算に対する各会派の評価と見解

安心・安全で暮らしやすいまちづくりを

自民党・無所属の会



自民党・無所属の会は令和8年度鎌倉市一般会計予算他諸議案に対し成長と分配の好循環を意識し、行政サービスの質を維持・向上させながら市民にその成果を着実に還元しているか、との観点から代表質問、予算等審査特別委員会などを通じて詳細な質疑、意見交換を行い、すべての議案に賛成しました。

国際情勢の不安定化を踏まえ、外的要因に左右されない強靱な地域経済と財政基盤の構築が、今後の市政運営において重要であるため、以下の要望や提案を行いました。

●公共施設再編計画の見直しについて

公共施設再編の必要性を市民に丁寧かつ十分に周知し、将来の財政負担を見据えた現実的かつ計画的な再編を求めました。

●避難所運営について

ペット飼育者が躊躇なく避難できる環境整備を進め、災害時における実効性の高い避難体制を求めました。

●交通不便地域の解消について

住み慣れた地域で自立して暮らし続けられるよう、持続可能な交通不便地域対策を求めました。

●深沢事業用地周辺の交通環境の整備について

深沢地域のまちづくりを着実に進めるために、早急に交通整備計画の全体像を明らかにし、段階的かつ着実な整備を進めることを求めました。

●高齢者バス割引乗車証購入助成事業について

高齢者の外出機会を促進し、健康寿命の延伸と地域参加につなげる観点から制度拡充を求めました。

●小町通り周辺の観光対策について

トイレ協力店などに対し、維持管理等の助成援助を求めました。また、民間事業者へ補助制度の周知を図り喫煙所の増設を進め、生活環境と観光環境の双方に配慮したまちづくりを求めました。

●鎌倉地域漁業支援施設整備について

近隣住民や関係者の理解を得ながら、地域漁業産業を守り育てる観点から、着実かつ丁寧な事業推進を求めました。

●有害鳥獣対策について

タイワンリスが爆発的に繁殖しており、農業被害や市民生活に深刻な被害が及ばないよう、実効性を重視した強力な捕獲対策を講じることを求めました。

●小中学生のネットリテラシー教育について

インターネットを安全に正しく利用するスキルを身に付けるため家庭と連携しながら実践的なネットリテラシー向上に取り組むことを求めました。

●消防力強化について

全国で頻発している林野火災に備えるため自治体の枠を超えた広域的な応援体制の確立を求めました。また、消防団器具置き場について災害時重要な拠点となることから計画的な改修を求めました。

庁舎整備費用を明確に！大船再開発を前へ！

立憲民主党鎌倉市議会議員団



令和8年度本予算案に対し、「庁舎等整備事業」「職員体制」「計画の実行」の三点から反対の立場を表明しました。

●庁舎等整備事業について

建設資材費の高騰が続く中、両輪体制による庁舎整備は、いまだ総事業費が明示されておらず、計画を再検討する基準や時期も定められていません。DXによる業務効率化についても、その具体像は示されないままです。このような状況で多額の公費を投じ続けることは、市民への説明責任を果たしているとは言えません。分庁舎・本庁舎双方について可能な限り具体的な総事業費を示し、財政状況と将来の業務像を踏まえた上で、早急に建設の是非を判断すべきであり、その方針が示されない限り、関連予算は認められません。

●職員体制について

会計年度任用職員の割合は全体の約46%に達し、年々依存が強まっています。特に、「こどもと家庭の相談室」において、相談員全員が会計年度任用職員である現状は、支援の質や継続性に深刻な影響を及ぼしかねません。専門性の蓄積や経験の継承、市民との信頼関係の構築が求められる分野においては、常勤職員の配置が不可欠です。人への投資を将来への投資と捉え、常勤職員の確保を含めた職員配置の見直しを求めました。未来をつくる人材への投資は必要です。

●計画の実行について

交通や福祉など市民生活に直結する各種計画が改定されたにもかかわらず、初年度となる令和8年度予算には、具体的な実行事業費が十分に計上されていません。交通不便地域においては、移動手段の確保が生活の質や地域とのつながりに直結しており、計画の実行を待ち望む市民の声も少なくありません。計画を形骸化させることなく、市民の期待に応えるため、年度ごとに着実な実行が可能となる予算措置が見られず、現行計画の実現性は極めて低いと言わざるを得ません。地権者の現状を丁寧に把握した上で、抜本的な計画見直しを行い、実現可能な再開発計画を再構築すべきです。計画はしたが実行されないのでは意味がありません。

市民の血税からなる市の予算は市民が納得する形で使われるべきです。実現可能な計画かどうか、未来を見据えているか、具体的に計画を進められるか、その観点から市民の代表として納得できないものには否を唱えさせていただきます。

市民の声を活かした責任ある市政運営を

公明党鎌倉市議会議員団



公明党は、令和8年度鎌倉市一般会計予算など諸議案について賛成しました。

●新たな財源の創出について

鎌倉市の付加価値を高めるとともに、市民生活の環境改善に還元するため、宿泊税(早ければ令和9年10月導入)に加え、本市に適した持続可能な新たな財源を生み出す施策を、積極的かつスピード感を持って推進することを求めました。

●防災活動事業について 自主防災組織の活動水準や体制には地域間で大きな格差があり、地域防災力の低下につながる重大な課題です。とりわけ成り手不足に対し、地域課題の把握や支援体制の強化、人材育成、活動環境の整備など、実効性ある施策を講じることを求めました。

●交通体系整備事業について バスの減便により、高低差のある地域の高齢者から「外出に困る」との切実な声が届いています。オンデマンド交通や公共ライドシェア等も含め、地域特性に応じた多様な移動手段確保に向けた具体的な導入方針を早期に示すよう強く求めました。

●庁舎等整備事業について 両輪体制方針に基づき基本設計を速やかに再開し、市民の声を丁寧に聞きながら着実に進めることを求めました。あわせて、物価上昇を見極めつつ事業費を最大限抑制し、基金や起債を含む中長期的な財政計画を明らかにしたうえで推進することを強く求めました。

●こども誰でも通園制度について 「誰でも」の名称にふさわしく、障害や医療的ケアの有無にかかわらず全ての子どもが利用できる環境整備は、子どもの権利保障とインクルーシブな地域社会の実現につながります。全ての子どもが安心して利用できるよう、保育士確保のための処遇改善など、受け入れ体制への更なる支援を強く求めました。

●鎌倉市観光協会への支援について 観光協会は地域経済の活性化、観光客受け入れ体制の整備、市民生活との調和において重要な役割を担っています。市観光課との協働のもと、市民・観光客双方にとってより良い観光政策を推進できるよう、柔軟な予算拡充措置を求めました。

●鎌倉芸術館について 毎年多額の税金で事業運営が支えられている鎌倉芸術館は、本市の芸術文化振興において重要な役割を担っています。だからこそ、慢性的な赤字体質から脱却し、具体的な黒字化への道筋を速やかに示すことを求めました。

●国際交流について 鎌倉市は平和都市宣言や鎌倉市民憲章に記されたとおり、世界の人々と友好を結ぶ平和都市としての誇りを持っています。世界が混沌とする今だからこそ、草の根国際交流はますます重要です。1人でも多くの市民が世界平和・多文化共生・相互理解の意識を育める交流機会の創出と推進を求めました。